

秋は「始まり」の季節

中西 陽介

10月は、国慶節で始まります。いわゆる建国記念日の祝日で、「十一」と呼ばれる10月1日から一週間ほどの大型連休となります。日本のゴールデンウィークのように、連休中には非常に多くの中国人が国内外へ旅行に出かけます。そのため列車のチケットなども取りにくくなります。

学校もお休みなので、この時期を利用して旅行に行く留学生もたくさんいました。私自身はどこにも行かなかったのですが、聞いたところによると、どの観光地も人でごった返していたそうです。実際、景色を見るというより人を見に行っている感じのようですが、この中国の人の多さを体験するのも“中国”を実感できる良い機会なのではないでしょうか。

この大型連休が終わると、いよいよ中国の新一年生の授業も本格的に始まります。この時期、校内がにわかに活気づきます。

大学には多くの社団活動(サークル活動)があり、新入生勧誘イベントが開催されました。それぞれのサークルがテントブースを持ち、できるだけたくさんの新入生に加入してもらうため、様々な趣向を凝らして注意を引き付けます。ダンスや歌のパフォーマンス、ゲーム、中にはアニメのコスプレをしている上級生もいました。

私を含め日本人留学生の何人かは、国際交流サークルのお手伝いをしました。ブースにやってきた新一年生は、好きな成語(中国の四字熟語)を一つ選び、我々外国人にその成語の成り立ちや物語を解説するという体験コーナーでした。しかし、彼らは外国人相手でも容赦しません。普通の日常会話のスピードで話してくるので、彼らの説明を聞き取り理解するのは至難の業でした。ここに限らず中国人の喋るスピードはものすごく速いです。ブースを訪れた新入生の何人かはとても日本に興味を持っているようでした。中国人の学生に、なぜ日本に興味があるのかと尋ねると、ほぼ決まって



秋の校内



国際交流サークルブース

「日本のアニメが好き。」という答えが返ってきます。しかし、先日初めて「歌舞伎に興味がある。」という学生に出会いました。とても日本の伝統文化に詳しく大変驚きました。



新歓イベント